

令和3年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
運動療法学Ⅱ		演習・講義	安村明子 小林正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>高度医療、高齢化の進展に伴う保健・医療・福祉領域において、理学療法士に求められる役割や知識と技術について知り、理解することを目的とし、予防理学療法、産業理学療法について授業を通してその基本となる考え方、評価とアプローチの知見を修得する。運動制御および学習におけるメカニズムについて理解し、運動療法の実施に伴う上での基礎的な知識となることを認識する。</p>				
授業の到達目標				
<p>予防理学療法、産業理学療法において、理学療法の活動分野・役割が理解ができる。環境やライフステージに伴う身体的変化の特性を学び、理学療法の介入における予防的観点とその評価やアプローチについて理解ができる。運動実施による身体機能や運動能力への効果について理解ができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	健康とは			小林
2	生活習慣病と運動			小林
3	予防理学療法：高齢期における運動器障害①（サルコペニア、フレイル）			小林
4	予防理学療法：高齢期における運動器障害②（ロコモティブシンドローム）			小林
5	産業理学療法：筋骨格系障害の予防、メンタルヘルス			小林
6	予防理学療法：転倒・骨折予防			安村
7	予防理学療法：認知症予防			安村
8	予防理学療法：廃用症候群の予防①			安村
9	予防理学療法：廃用症候群の予防②			安村
10	予防理学療法：排尿障害の予防①			安村
11	予防理学療法：排尿障害の予防②			安村
12	災害時の理学療法			安村
13	運動制御について			安村
14	運動学習について			安村
15	患者・対象者教育について			安村
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	20%	内容・形式については講義中に指示する。		
小テスト	80%	安村6割、小林4割の範囲で作成する。小テストは各単元の授業中で実施する。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
予防と産業の理学療法	樋口由美 他編	南江堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
高齢者理学療法学	島田裕之 総編	医歯薬出版株式会社		
ウィメンズヘルスリハビリテーション	ウィメンズヘルス理学療法研究会	MEDICAL VIEW		
自由記載				
備考				
各単元の授業終了時に小テストを実施するため、集中して受講すること。				